

原子力コードセンター便り

(財) 高度情報科学技術研究機構
コードバンク部長

鈴木 忠 和

1. コードセンター活動状況

平成16年度上半期のコードセンターの活動状況は以下の通りです。

(1) コードセンター新規登録コード

平成16年度上半期において新たに登録されたコードは、NEAデータバンクから11件、原研から5件の計16件です。表1にコード名及びその機能の概要を示します。なお、各コードのより詳細な紹介については、コードセン

ターホームページ

(アドレス <http://www.rist.or.jp/nucis>) にアクセスし、“WHAT'S NEWS”をクリックすることにより検索することができます。また、コードセンター登録コードの利用申込み、原子力コード情報データベースNUCISの検索も上記のアドレスにアクセスすることにより可能です。

平成16年度 上期登録コード一覧

(平成16年9月30日現在)

No.	コード名	機能	Contributor
1	GSA-GCL	埋設濃度上限値を上回る放射性廃棄物処分の総合安全評価コード	JAERI
2	SRAC (Ver.2002)	汎用機計算コードシステムSRACの最新版	JAERI
3	ECIS-03	連続繰り返し法による原子核模型記述コードECISの最新版	NEA
4	SADDE-MOD1	VARSKINコード用ベータスペクトル評価用入力データ生成コード	NEA
5	TRIPOLI-4.3.2	中性子、光子、電子、陽子組み合わせ型3次元時間依存モンテカルロ法輸送コード	NEA
6	CALENDF-2002	ENDF/Bからポイントワイズ、多群中性子断面積と確率テーブル生成コード	NEA
7	KENO3D 2.00	KENO Va, KENO VI 用の幾何形状の可視化用ツール	NEA
8	UMG 3.3	スペクトロメーターを用いて測定されたデータをアンホールディング法を用いて解析するコード	NEA
9	BULK-1	プロトン加速器装置のための放射線遮蔽ツール	JAERI

No.	コード名	機能	Contributor
10	EPICSHOW-96.1	EPIC (Eielectron phton Entervactive Code) データライブラリーの会話型表示コード	NEA
11	CVTRAN	SRACで書いた巨視的断面積ファイルを用いてTWO DANT用断面積ファイルを準備するFortranコード	JAERI
12	CRECT-J6	評価済み核データ編集用プログラム	JAERI
13	CRECT-J6	評価済み核データ編集用プログラム	NEA
14	ZZ-PWR-MSLB-REV.4	PWR主蒸気ライン破損時ベンチマーク	NEA
15	JCDS(WINDOWS)	BNCT線量評価システム	JAERI
16	PCC/SRC	複雑なコンピュータモデルの感度解析用プログラム	NEA

(2) 配布コード

平成16年度上半期においてコードセンター加盟機関に配布したコードは合計159件でした。リクエストの多かったコードは以下の通りです。

MCNPXDATA	8件
MCNP-4C	8件
MCNPX2.4.0	7件
PHITS1.63	5件
ZZ-MCNPXDATA2.4.0	5件
ORIGEN2.2	4件
QAD-CGGP2	4件

2. RSICCユーザ会活動状況

米国・放射線安全情報計算センター(RSICC)との情報交換の推進のために平成

13年度発足しましたRSICCユーザ会は、現在42の国内機関の参加を得て活発な活動が行われております。

平成16年度上期、ユーザ会に新たに登録されたコードは21件、会員へ配付されたコードは90件です。登録されているコード名と機能についてはユーザ会ホームページ

(<http://www.tokai.rist.or.jp/rsicc/index.html>) にアクセスし、ご参照ください。

ユーザ会事務局では、RSICCユーザ会の活動をさらに積極的に推進するために、新たな登録機関の募集を行っています。ユーザ会に参加を希望される場合は上記のホームページから登録申し込みができます。